

# 稲作だより

## ～第3号 育苗・本田編～

### 健苗育成が初期生育確保のポイント！

4月18日発表の東北地方の1か月予報（4月20日から5月19日）では、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。苗の温度管理には十分注意しましょう！

#### 1 健苗育成のための温度と水管理 《高温障害に注意!!》

気温の低い日でも、日が当たると閉め切ったハウス内はすぐに高温になります。朝8時前までに換気しましょう。

◇温度管理の目安

稚 苗 育 苗（育苗器で出芽する場合）		中 苗 育 苗（無加温で出芽する場合）	
出芽期（2日間）	30～32℃	出芽揃いまで	20℃以上
緑化期 （3日間）	昼間 20～25℃ 夜間 10℃以上	出芽期～ 1.5葉期	昼間 30℃以下 夜間 10℃以上
1.5葉期以降	昼間 15～20℃ 夜間 5℃以上	1.5葉期以降	昼間 15～20℃ 夜間 5℃以上

○かん水は、基本的に午前中に1回たっぷりに行いましょう。根張り不良の原因となるため、低温時や夕方のかん水は行わないようにしましょう。

#### 2 育苗期に発生する障害

温度管理やかん水を適切に行い、病害等の発生を防ぎましょう。

苗の地際部や籾周辺のカビ、生育異常等がみられたら、早めにご相談ください。

◇育苗時の主な病害、障害の原因と対策

障害（原因菌）	症 状	原 因	耕種的な対策
苗立枯病 （リゾプス）	覆土の表面や種籾のまわりに白いカビ	出芽期間中の高温、緑化開始後の低温	高温、過湿を避け、日光に当てて殺菌する。
苗立枯病 （トリコデルマ）	地際部に青緑色のカビ	水分不足、土壌pH4以下、出芽時の高温	高温を避ける。
苗立枯病 （フザリウム）	地際部に白または紅色のカビ	低温、乾燥・過湿の繰り返し	低温を避ける。過湿、過乾燥にしない。
ムレ苗症状	2葉期以降、葉先が巻いて萎れる	過湿、低温、土壌pH6以上、厚播き	過湿にしない。

### 3 育苗期の追肥 <<追肥は適量を>>

◇苗の種類と追肥時期

苗の種類	追肥時期	施用例
中苗(35日苗)	1回目：2.0葉 2回目：3.0葉	窒素成分 1g/箱を目安に施用します。 例) 液肥2号(窒素成分10%)の原液を100倍に希釈し、箱あたり1ℓ施用します。
稚苗(25日苗)	1.8葉期	

※育苗土に緩効性肥料（中苗一発など）を使用した場合は追肥の必要はありません。

### 4 適正な基肥施用 <<食味・品質重視！ムリせず適正な施肥量を！>>

○過剰な施肥は、食味や品質の低下を招きます。品種に合わせた適切な施肥を行いましょう。

◇一般田での施肥量の目安（窒素成分 kg/10a）

品種名	基肥	品種名	基肥	品種名	基肥
はえぬき	5～6	あきたこまち	3～5	コシヒカリ	2～3
つや姫	3～4	ササニシキ	3～4	山形95号	4～5
雪若丸	4～5	ひとめぼれ	3～4		

※例年、葉色が濃い、屑米が多い圃場では、窒素を1～2割減らしましょう

○作土深を十分確保することにより、登熟期の高温等への抵抗力が高まります。作土深は15cmを確保しましょう。



北村山地域の稲作情報をLINEで配信しています。  
QRコードを読み込んで、友だち登録してください。



☆春の農作業事故防止啓発運動展開中（4月1日～6月10日）

あせらず、ゆとりを持って農作業をしましょう。周囲の方にも、声掛けを！

北村山農業技術普及課 Tel : 0237-47-8630,8631